

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 のリニューアル・オープンについて



※外観イメージ図

平成29年7月30日
岐阜県・各務原市

日本を代表する航空宇宙専門博物館「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」が、
いよいよ2018年3月24日(土)にリニューアルオープンします！

○リニューアルコンセプト

「先人の空・宇宙(そら)への憧れ、挑戦の物語を伝え、
次代を担うこどもたちにチャレンジスピリットと感動を与える博物館」

	リニューアル前	リニューアル後
名 称	かかみがはら航空宇宙科学博物館	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
運営主体	各務原市	岐阜県・各務原市
運営方法	直営	指定管理
延床面積	8,153㎡ うち展示面積5,459㎡	12,192㎡ うち展示面積9,421㎡
入館料	大人 800円 高校生 500円 小中学生 300円	大人 800円 高校生 500円 小中学生 無 料
休館日	毎週火曜日、年末年始	毎月第一火曜日、年末年始
来館者	13.7万人(平成27年度)	50万人(目標)

展示面積1.7倍

○愛称

空 そら 宙 はく 博

○ロゴマーク



岐阜かかみがはら
航空宇宙博物館

かがみがはら航空宇宙科学博物館リニューアルにあたっては、平成26年秋から約2年半にわたり、国の関係機関やJAXAのほか、航空宇宙メーカーなど、いわば我が国を代表する有識者の方々によって検討を重ねてきました。

○検討体制:「かがみがはら航空宇宙科学博物館リニューアルに関する意見交換会

座長: 松井孝典 (国の宇宙政策委員会委員長代理、東京大学名誉教授 千葉工業大学惑星探査研究センター所長)

(メンバー)

(国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	三菱重工業	内閣府(宇宙開発戦略推進事務局)
(一社)日本航空宇宙工業会(SJAC)	川崎重工業	文部科学省(研究開発局)
(一社)日本航空宇宙学会(JSASS)	(一社)中部経済連合会	経済産業省(製造産業局)
(公財)日本宇宙少年団	立川技術経営研究所	各務原商工会議所

また、世界の著名な博物館等との間で、展示品の貸借、展示・企画手法の国際交流、国際協力を進めています。

これまでに世界を代表するスミソニアン航空宇宙博物館を運用するスミソニアン協会と連携協定を締結したほか、NASA、JAXAとも連携しています。



米国スミソニアン協会(スミソニアン航空宇宙博物館の運営者)との連携協定を締結(H28.9)

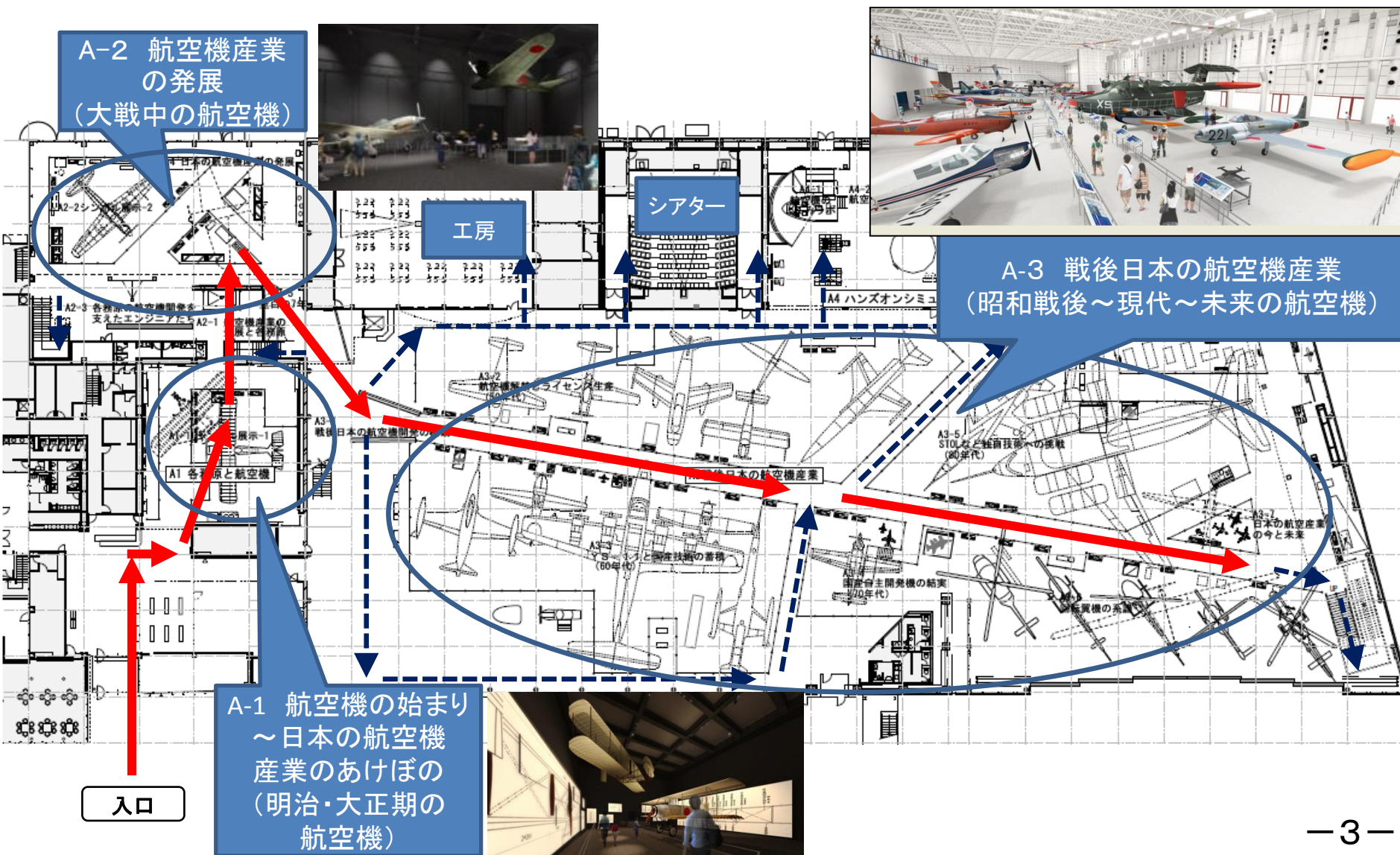


NASA(米国航空宇宙局)への協力要請(H28.9)



JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携協定締結(H28.10)

【航空エリア】 戦時中に岐阜で製造され、世界で唯一現存する三式戦闘機「飛燕」の実機や、世界的な名機「零戦」の試作初号機の実寸大模型を展示。日本最多を誇る航空機実機を年代ごとに配置するとともに、MRJをはじめとする最新の航空機や、超音速機といった未来の航空機を紹介します。





A1 航空機の始まり

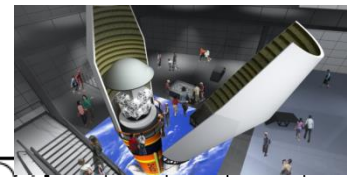
人類初の動力航空機「ライトフライヤー」と、日本初の量産機「サルムソン」



A2 航空機産業の発展

世界で唯一現存する「飛燕（実物）」、世界的名機「零戦初号機（十二試艦上戦闘機）」

【宇宙エリア】 アポロ計画やスペースシャトルをはじめとした人類の宇宙開発の歴史を映像で紹介するとともに、現在の宇宙開発の舞台である国際宇宙ステーション(ISS)の日本実験棟「きぼう」や日本を代表する惑星探査機「はやぶさ2」の実寸大模型などを設置します。



S1 大気圏と宇宙
の違い

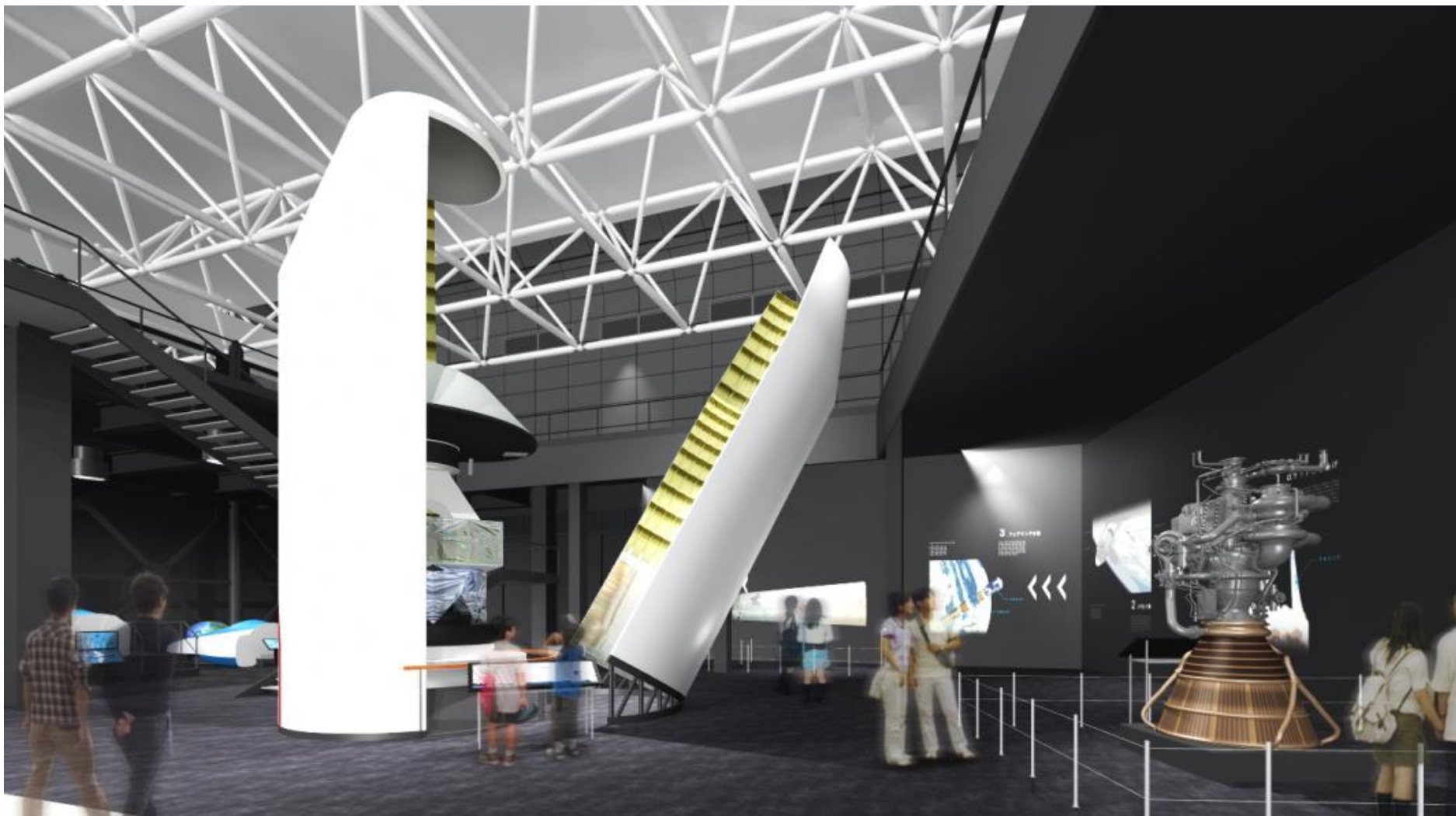
S2 宇宙への出発
(ロケット)

S3 宇宙から地球
の暮らしを支える
(人工衛星)

S4 人を宇宙に送る
(有人宇宙開発)

S5 生命を探る
宇宙探査
(探査機)





S1 大気圏と宇宙の違い
H2ロケットのフェアリングとメインエンジン(ともに実物)



S2 宇宙への出発(ロケット)

「ペンシルロケット」から
最新鋭の「H3ロケット」の模型などを展示

S3 宇宙から地球のくらしを支える(人工衛星)

光通信衛星「きらり」や通信衛星「かけはし」
の実物大の熱試験モデルを展示。

そのほか、さまざまな人工衛星のはたらきを
紹介

**超小型衛星も展示・紹介
予定！**



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 S-3 宇宙から地球のくらしを支える

○展示内容のねらい さまざまな人工衛星が私たちの生活を支えていることを実感する

- ・様々な人工衛星を紹介
気象衛星、通信衛星、GPS衛星、地球観測衛星、資源探査衛星、実験衛星、小型衛星など、様々な衛星のはたらきを紹介
- ・人工衛星の仕組み
姿勢制御(リアクションホイール)や内部構造を紹介するなど、人工衛星のしくみや特殊な技術を紹介。

JERS-1(ふよう1号)等

人工衛星の小型化、民生化、
短時間開発化、低予算化の
流れを紹介

大型衛星(数トン)
→超小型衛星(50kg以下)



通信技術衛星
「かけはし」(実物)
2m × 3m × 3.5m

熱試験モデルのため、
人工衛星ができるまでの
流れを解説

熱試験モデルの外板(実物)や
当時の解説パンフレット(実物)
を展示するよう調整中。

※県内産業への関心向上
県内産業が製造した衛星
部品を展示

世界で初めて宇宙空間で
ドッキングに成功した衛星の
技術を紹介

缶ジュースサイズの人工
衛星製作、打ち上げ、運
用を通じた研究・教育の
取組を紹介

※全国大会(缶サット甲子
園)の中部地区予選は毎年
各務原市で開催

スペースデブリ
の解説(パネル)

サーマルブラン
ケット
(触ること
のできる展示)

超小型人工衛星
(実物)

●小型人工衛星
管制画面映像

光通信実験衛星
「きらり」
(実物大模型)



・人工衛星の燃料タンク/推進系
や姿勢制御系など衛星の仕組
みを詳しく紹介

人工衛星「きらり」(JAXA貸与
模型)の前に内部構造を示す
パネルを配置

●3Dの地球映像
人工衛星と地球
(天井に半球を設置。
ベンチから見上げる、
または床に半球を配
置)

宇宙実験・観測衛星
「フリーフライヤー」
(1/32模型)

岐阜県内で製造された
衛星の部品(実物)

宇宙空間自動合体
実験機
「きく7号(おりひめ・
ひこぼし)」
接続機構(実物)

缶サット
(実物)

地球観測衛星
「だいち2号」
(1/20模型)

衛星の姿勢制御装置
(リアクションホイール)

気象衛星「ひまわり」
通信衛星「JCAT」
GPS衛星「みちびき」
(1/20模型)

実用衛星の開発
ロードマップ解説
(パネル)

実用衛星の軌道
解説(パネル)



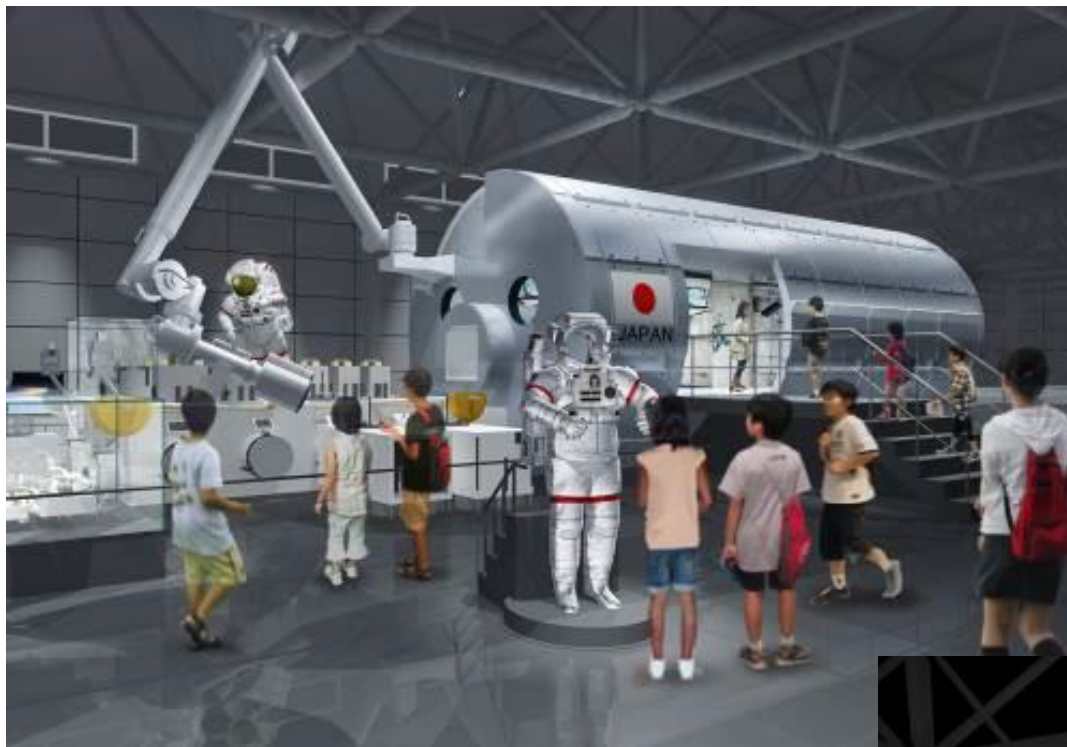
★シンボル展示
「暮らしを支える代表的な人工衛星」

最初に見る

●宇宙開発挑戦ストーリー映像(2)(3分程度)
「宇宙から地球のくらしを支える」

・ロケット技術の進歩とともに人工衛星が誕生し、様々な目的の人工衛星が開発・運用され、地球上でのくらしが便利になったことを映像により解説
※暮らしを支える様々な衛星の種類と働きを中心に紹介





S4 人を宇宙に送る(有人宇宙開発)

国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」
の実物大模型。内部もリアルに再現

S5 生命を探る宇宙探査

最新探査機「はやぶさ2」と
米国火星探査機「キュリオシティ」の実物大模型



超小型衛星に関する展示物のご提供 など、
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館のリニューアル に
協力いただける大学・研究機関・企業 を
募集しています！



【お問い合わせ先】

岐阜県商工労働部 航空宇宙産業課 博物館整備係

TEL: 058-272-8836

E-mail: c11354@pref.gifu.lg.jp